

1. 火災事故名：山形県 蔵王観光ホテル火災

2. 火災発生日時：1983/2/21 午前3時頃

3. 火災の発生状況：

AM3時頃蔵王観光ホテル（本館 木造4階建て 1,596m<sup>2</sup>、別館 木造2階建て 667m<sup>2</sup>）の本館4階建ての2階部分の萩の間トイレの暖房用電気ストーブから出火、折からの強風（10-15m/分）で一気に火が拡大した。隣接する柏屋旅館、海老屋旅館にも延焼 全体で3,582m<sup>2</sup>焼失した。この火災で、99名の宿泊客は、避難誘導や自力で脱出したが、一部逃げ遅れた人が煙にのまれた。従業員5人、客6人合計11名が死亡し、負傷者2名であった。死亡原因はいずれも一酸化炭素中毒。被害者は、1階の配膳室に6名、2階食堂のトイレ付近で4名、3階の一室布団で1名が横たわっていた。蔵王観光ホテルは1920年代の建物で、増築などで建物構造が複雑で、「適マーク」は受けていたものの火災報知機が誤作動が多く、停止させていた。その後、このホテルは廃業した。

4. 犠牲者：死者11名 負傷者2名

5. 火災の原因：トイレの暖房用電気ストーブ

6. 火災の写真：消防防災博物館 火災事例



7. 詳細報告書：消防庁検討部会 消防防災博物館 火災事例